

第七弾

「名無しさん」からの投稿本より 『ベルリン』シリーズ

A「今回は読者の方からの投稿本を特集します。『ベルリン三部作』です！『ベルリン 1919』『ベルリン 1933』『ベルリン 1945』の三冊があり、数字は年代を表しています。時代的には第一次世界大戦後から第二次世界大戦の終結までですね。ベルリンの下町に住むゲーブハルト一家の物語です。いかがでしたか、お二人とも？」

F「・・・最初いじめかと思いました。表紙を並べてみたときに」

A「実際の写真が表紙に使われてますもんね。まるでノンフィクションのよう」

M「しかも一冊一冊が辞書並のふ厚さ。なが——いため息が出たわよ」

A「で、ちょうど三人いるので一人一冊読もうということになったんですね」

M「それぞれ主人公が違うからね。これから読む人もどの巻から読んでも大丈夫よー」

F「私は 1919 を読みました。ゲーブハルト家の長男ヘレが主人公です。だんだん治安も悪くなって、戦争の影が濃くなっていくんですけど、希望を持った終わり方になっているのが印象的でしたね」

M「私は次の 1933 ね。ヘレの弟ハンスが主人公。というかこの巻だけ登場人物一覧がなかったのよ！ 出てくる人が多いからしょっちゅうこれ誰だっかってなってたわ」

A「なぜでしょう？ 本が古いのでしょうか」

M「1933 が日本で一番最初に翻訳されたんだって。これが評価されて他の二冊も出版になったみたいよ」

F「なるほど。M先輩お疲れさまでした」

M「この巻はとにかく盛りだくさんのよー。父親と母親は失業中だからハンスが働かないわ、姉はナチの党员と結婚しちゃうわ、ヒトラーが首相になるわ、彼女はユダヤ人だわ。だけどデートはかかさない！」

F「アンニちゃんは出てこないんですか？ヘレの初恋の人」

M「誰それ？ ハンスはミーツェ命だもん。工場でね、一目惚れだったのよー。映画館でデートするんだけど、いつもお金がなくて彼女におごってもらうのよね」

F「ハンス・・・(涙)」

M「まさにハンスの青春って感じだったわー」

A「えーと・・・1945 ではハンスは故人なんですが」

F & M「！！??？」

A「あ、紙面なくなってきましたね。では続きはブログで☆」

F & M「えっ？ Aさんどういうことっ!？」

え——っ!?!?」



クラウス・コルドン著 酒寄進一訳 933/コル 理論社

Volume.11

YA通信

ホンダラケ

H28.02.01.

読者の投稿にブログでお答えしました。本誌の対談の続きも掲載予定！
<http://sanda-city-lib-ya.sblo.jp/>

残念な本特集

そこの君、いつも表紙だけで本を選んでいないかい？ え、表紙がアニメ調じゃない本は面白くない気がする？ 読まず嫌い？ ……もったいないッ！（絶叫）今回はそんな「おもしろいのにならけあって借りてもらえない残念な本たち」にスポットライトを当ててみました。出会え、若人！



第九軍団のワシ

岩波書店・933/サト

ローズマリ・サトクリフ 著 / 猪熊葉子 訳

キラキラなアニメ調の表紙が主流になりつつあるこのご時世に、いっそ新鮮な懐かしさを感じる表紙ですね～。カレドニアを平定するため北へ進軍した第九軍団が、霧の中で消息を絶った。けがを負って退役した元百人隊長のマーカスは、奴隷であり友人のエスカを連れて、父が指揮した第九軍団の真実を探る旅に出る。読み終わった時、この表紙の意味が分かる！！

ホンダラケとは

本誌は、読者の身も心も「本だらけ」にしてやるうという心意気から生まれた中高生向け小冊子です。

本誌に登場する本は全て三田市立図書館本館のYA（ヤングアダルト）コーナーでご覧いただけます。（もちろん、大人の方もお読みいただけます）

2か月に1度、年6回発行予定です。

皆様が手に取りたくなる誌面にしてまいります。ご期待ください。

青春読書記

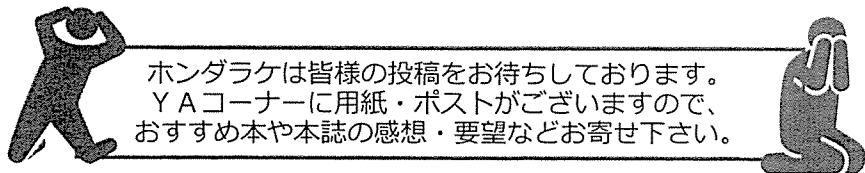
～三田学園図書委員会より愛をこめて～

今回は三田学園の棚も『残念』をテーマにしてくれるそうよ！
もらった原稿にはこの本への愛がいっぱいに綴られていたわ……！

「シャングリ・ラ」池上永一：著 (Fノイケ)



地球温暖化を防ぐため、CO2に課税がかかる近未来、政府は国土の森林化を決定し、天空都市アトラス建設に着手した。五十年後、森に追われ政府に抵抗する難民の拠点に一人の少女が帰還する。北条國子、18歳。彼女は難民メタル・エイジの総統だった。生き残りをかけアトラスに宣戦布告する國子たちメタル・エイジと、玉座を狙う内親王美邦、人工知能を使って経済支配を狙う少女香凛、そしてアトラスの秘密——それぞれの思惑と正義が絡み合う、ノンストップの展開。物語もキャラクターも濃くて面白いです。なのに借りてもらえないなんて残念すぎる！ 誰かこの子を読んであげて下さい！



ホンダラケは皆様の投稿をお待ちしております。
YAコーナーに用紙・ポストがございますので、
おすすめ本や本誌の感想・要望などお寄せ下さい。

リサイクル予備軍

～なぜ君は借りてもらえないのか～

ヒップホップラッパーを目指す人のラップ入門 MC一寸法師：編著

どうやら 2005 年から棚にいたみたいなんですけど、恐ろしく貸出回数が少ないのです。でも、そのわりに本来の場所からお出かけしている率が高い。ホラホラやっぴり気になるんだよね？ 見よう見まねな俺のラップって正しいのか!? でも本みて勉強ってカッコ悪くない? とか心の葛藤でしようか? さあ、勇気を出してこの本を取ってカウンターへ!! オススメポイントは巻末のラップ用語集。ラッパーがよく言ってる「ちえけらっ」の意味がわかってY0!



767.8/05

新着本Pick Up



ぼくは科学の力で世界を変えることに決めた ジャック・アンドレイカ
マシュー・リシアック 中里京子訳

アメリカの15歳の少年が、すい臓がんの画期的な検査法を開発した——そんなニュースを覚えている人もいるかもしれません。科学大好き少年のジャックが、学校でのいじめやうつ状態、尊敬するおじさんの死など様々なことを乗り越えながら国際的な科学賞を受賞するまでの物語です。何事もねばり強くやりとげるジャックに勇気をもらえます。科学っておもしろい!

講談社 289.3/アン

YA新着本

請求記号	タイトル	作者名
159.7/15	君に伝えたいこと	姜尚中
596.6/16	はじめてでもかんたん! HAPPY♥友チョコ	中村 陽子
F タカ	少女の空想庭園	cosMo@暴走 P
F ノム	楽園への清く正しき道程 [1]	野村 美月

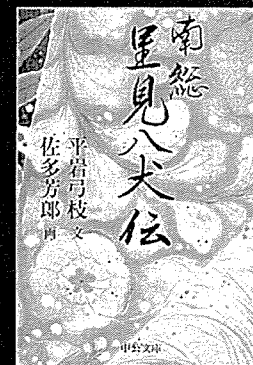
執筆者の腕がひたすらに試される
名作本コラム

『南総 里見八犬伝』

中央公論社/平岩弓枝：文、佐多芳郎：画

時は戦乱の世。「功をあげた者に姫をめとらせる」という約束から里見家の姫・伏姫を勝ち取ったのは、なんと八房という犬だった! 伏姫からは光り輝く八つの玉が生まれ、各地へ散らばっていく。そのばらばらになった八つの玉を握って生まれてきた子どもたちがいた。それぞれ名前に「犬」の一字を持つ玉の化身の少年たちは、運命に導かれ『八犬士』として結集する!

作者の滝沢馬琴が40代から70代にわたって書き続けた、渾身の長編ファンタジーです。現代のライトノベルに全くひけをとらない設定と面白さに驚くはず。今回紹介するのは直木賞作家・平岩弓枝が文を手掛ける本です。ぜひどうぞ!



F ヒラ